村野守美

昭和16年9月5日、大連に生れる。学歴無し。財産無し。賞罰無し。代表作品無し。

地蔵峠は
甲斐と
駿河の
国境

ハァ
ハァ
ハァ

ガロは恐しい……幾多の作家を輩出し、今後幾多の作家を輩出することだろうか。次の20年に向って、更なる発展を祈るばかりである。

ガタ
ガタ

ガタ
ガタ
ガタ

腹がすいたか？坊……
ウウンッ

すいたはずだぞ……坊……

へエ…いらっしゃいっ
名物地蔵だんご
ふたつとない味名物地蔵だんご
チチチッ

坊……
ン……？

バタバタ
腹すいたなあ

ウン……

ハハハハ…
ようし…
親爺
ニギリ飯をくれっ
ヘエ……
お二人様…
ひとつ
じゃっ
ひとつぐらいしか持ち合せがないからな
ヘエ
ヘエ…
フッフッフッ
ゴウーッ
ゴーッ
ゴーッ
よう
鳴る……

よう鳴る凧（たこ）じゃ…

ブンブン
ブンブン

ブンブン
ブンブンッ
元気が
あるっ…

あっ
ああっ

トットッ
トッ……

もっと
ひけば
いいんだよね
爺っちゃん
ああ…

グングン
もっとひけば
いいんだよね
爺っちゃん

そうじゃ
グングン
グングン
力いっぱい
ひけば
いいんじゃ
そしてな
風に
また
凧が
のったら

サァーッ
サラサラ
サラサラサラ
サラサラ……
なんぼでも
糸を
くれて
やるんじゃ
ウンッ…
あっ
ほらっ
爺ちゃん

うむ……
うまい
やつじゃ……

…………

坊……

ンッ……
……?

おまえも
凧
あげたい
かい?

…………

いらね……
あんなの…

あげたく
ないや
あんな
ちっちゃいの
ハッハハハ…

ブウ〜〜ン

そうか…
そうか…
今にな
爺っちゃんが
一旗あげたら
でっかい凧
買ってやる
日本一のな…

あの
富士の山
みたいに
日本一の
凧を
買ってやる
もっと
音が
でかいのを
………？

ああ…
ブーン
ブンブン
ブンブン
ブンブン
この
ぐらい
うん
爺っちゃん

ヘイ……
お待ちどう
さん
オニギリ
ひとつ
ハイ
ありがとう

坊……
食え…

爺っちゃん
はいい……

坊
食え……
爺っちゃんは
いい……
……
……
……

半分こ
しょうっ…
そうしょう
か………

爺ちゃんはな
我慢が
ならんかった
のじゃ
ゴク〜ロ
モグモグ
勘忍が
ならんかった
のじゃ…
若え時から
それこそ
苦労して
今の
商い店を
やっと
こさえたんだ…
一代でだ…
徒弟から
やった
もんじゃ
ズ〜ッ
それを
あの
バカが…
コト
父ちゃんの
ことかい…？
うんにゃ…
わしの
息子でも
ある…
それが
ろくすっぽ
客扱いも
出来んと

ベェ〜〜〜ッ

パカッ
パカッ
ポコ
ポコ
パカッ
ポコ
もう
嬶の尻に
しかれおって

商い人は
なあ
坊……
パカ
パカ
ポコ
お客さんで
成り立って
いるんじゃ
寝ても
さめても
お客さんの
気にいる
ような品は
なんじゃろ
か……

買っても
損を
したような
気持ちに
させない
ようには
どうしたら
いいじゃろ…
いつも
考え続ける
もんじゃ
ウン……

ああ〜あ
あの店は
ほんまに
感じのいい
店じゃ

お金を
出すだけの
ことは
あるわい
喜んで
もらうよう
じゃないと
いかん

よう
食べた…
爺っちゃん
のも
あげよう
半分……

いいかあ
坊……
おまえに
これから
爺っちゃんが
ほんまの
商いを
見せてやる
ドンッ
あんな店は
おまえの
父ちゃんに
くれてやって
これから
出直し
じゃ
ふつぼろ汁

ウン……

あの
凧のように
グングン
グングン
風を
受けて
音高く
舞い上るっ

なあに
ふところにゃ
一銭も
ないが
大丈夫……
商いは
ここから
はじまる
もんじゃ

帰りとう
ないか…？
父ちゃんの
とこへ……
……
帰りとう
ない……
……

爺っちゃんを
いじめる
父ちゃん
なんて
嫌いだ…
ウム
爺っちゃんを
いじめるん
じゃ
ないんじゃ

商いのことでお客さんを思う心のことでいつも話が食い違う…
爺っちゃん商売やる…爺っちゃん好きだから

うんにゃ…
それっブ〜〜〜ンブンブンブンブンブンブン

ニャアアーーア

今に
あいつらより
長い糸をつけた
凧買って
くれる？
名ぶつ
酒
御茶
もちろん
じゃ……
倍も
倍も倍も
長あ――い
糸つけた
やつをなっ
ウンッ
坊……
これひとつ
お食べ
…………
…………

坊がな あんまり かわいいから ほら……
だんごが 食べて くれろ 食べてくれろ って 湯気出してる だ

これを 買うお金 ないよ

うんにゃ お金なんぞ いらねえから 食べてくれろと だんごが 言っとる

ほんとう…？

ハハハハ ハハハ…… ほんとじゃ
ありがとう

爺っちゃん 半分 あげる

プコ〜
プコッ
さあ
もう
そろそろ
いくか……
坊……
ヨッコイ
うんっ
おっ…
あ〜〜〜ん
して……
商い人は
たった
ひとつぶでも
無駄に
しちゃあ
いけねえ
あ〜〜〜ん
ンッ……？

無駄に
しちゃあ
なんねえけど
……
アーン

これは
無駄では
あるまい
パク

いくぞ
坊……
ウン
ブゥーン

ほら
さっきのが
あんなに
高いよ
ほんまに
高い……
ブーン

ブゥーン

チチッ
チチチッ

ハァ
ハァ
親爺さん… いまさっき ここを 子供連れの 年寄りが 通らなかったかね…？

いつごろだい……？
チチッ
チチチッ
知らねえよっそんなの…
親と子供に愛想つかされるようなそんなやつに知ってても教えるもんか知らねえったら知らねえ

どんな様子だったろうか…？
お金は持ってたふうかい……親爺さん教えておくれよどっちのほうへ行ったのかそれだけでも教えておくれよ

知らねえ知らねえっ

ほんとに知らねえっ
あっ……ありがとう親爺さん
タッタッタッ

待ちなっ

あたしだって商人だ人に道を聞いといてただってことはないだろう
す……すまなかった
そうだだんごをおくれっ…

それにこれも買ってもらおう

そ……
そんなものを
あげてるヒマは
ないんだ
親爺さん

いいから
買ってく
ことだ
たまにゃあ
年寄りの
いうことを
聞くもんだ

峠は
一本道じゃあっ
まっすぐ
一本道じゃあっ
老人と
子供の足だ
おっつけ
追いつく…
…………

昇り凧　完

制作スタッフ　　加藤光彰　山本義也　村野妙子